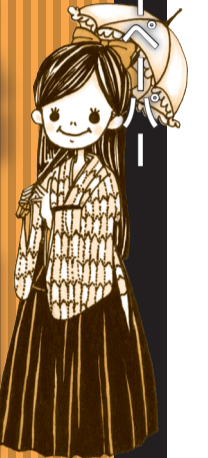


松山の学生がつくるまちづくりフリー

まちづくり!!

まつやま新聞



●発行 「坂の上の雲ミュージアム」指定管理者
四電ビジネス株式会社
松山市一番町3丁目20番地
☎089-915-2600

●編集 NPO法人地域共創研究所 NORA
NPO法人松山大学学生地域創造
研究所Muse

●協力 坂の上の雲ミュージアム

●制作 セキ株式会社
●発行部数 30,000部

松山市内の市有施設(一部を除く)ほか、坂の上の雲ミュージアム、ロープウェイ駅舎、道後温泉観光案内所ほか観光拠点で無料配布

記者、子規が働いた職場を再現

坂の上の雲ミュージアム



「新聞『日本』と子規」のポスター

坂の上の雲ミュージアムでは、3月2日から明治の言論界を代表する新聞「日本」に関わりを持つ人々に焦点をあてた年間企画展「新聞『日本』と子規」がスタートした。

同企画展は、新聞「日本」で子規が勤務している様子を実物大で紹介する編集室再現ジオラマや子規が使った実物のシャープペンシルなどがあり、当時の報道の臨場感を味わうことができるほか、日露戦争開戦期に国内外で報道された新聞記事の閲覧コーナーなどもある。

近代国家を目指し新しい国をつくりあげていった明治時代の日本にとって、日露戦争はまさに国の存亡がかかった大きな出来事。今回の展示を通じ、当時の「世界の中の日本」や、その中で子規や秋山兄弟をはじめ明治の人たちがどのように生きていたかを感じることができると、同ミュージアムの松原正毅館長は「企画展を皮切りに毎年展示テーマを新しくしながら日露戦争を明治時代のジャーナリズムの視点からとらえる『日露戦争と明治のジャーナリズム』を、数回にわたりシリーズ化した」と意気込む。

まちづくり 掲示板

手作りイベントのお知らせ

(団体・シニア・障害者割引有り)

●各種バラの展示や品評会が行われ、苗木や肥料なども販売される。

問 愛媛県農産園芸課
(089)912-2570

しまはくレポート

島唯一の食堂オープン

一年を通してさまざまな魚や貝が獲れる松山沖の「那須島陸月島」で、旬のものを旬のときに食べてもらいたい、地元で漁師をしている田中治さん(53歳)と料理人でありながら漁師がしたいと陸月に移住してきた中尾憲次さん(58歳)らが、島で唯一の食堂「海遊亭」を昨夏にオープンし、好評だ。

「島周辺では春にはタイ、夏には若ガキ、アワビ、サザエなどの貝、赤ウニや馬糞ウニ、おこぜ、秋には平目、サヨリ、イカ、冬には脂ののったハギやアジ、エイなどが獲れる。旬の味を味わってもらいたい」と田中さん。「釣ってすぐ、絞めてから、少し生煮で泳がしてからなど、どのタイミングで食べるとおいしいのが、漁師ならではの経験や知識を活かしているんです」と中尾さんは「こり春は身がしつかりしていて食べ応えがあるハギの刺身、脂ののったぶりぶりのアジの刺身などが旬。

高知県を代表する港町、中土佐久礼出身の記者(池田も、瀬戸内海の魚のうまさにとびつくりだった)要予約。

問 (090)866955-8754

観光ボランティアガイドさんは面白い!!

①所属する組織 ②案内時間
③案内内容

松山市の主要な観光スポットでは市民有志がボランティアでガイドを行い、松山観光の顔として活躍している。ボランティアガイドさんに聞く地元の逸話は、不思議に懐かし心に響く。観光客もさることながら、地元だからこそ意外に知らない発見もあり、目からうろこだ。

湯築城跡

1336年ごろ、伊予国(現在の愛媛県)の守護であった河野氏が本拠地としていた城の跡。国史跡指定を受けている。



昔があってこそ今があります。当時の様子を思い描きながら、一緒に城跡をめぐるみましょう。

船橋 実一さん

① 特になし ② 9:00~17:00(休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)) ③ 観光時間や関心の度合いに合わせて、湯築城と松山城との関係や歴史について城跡を歩きながらガイドしてもらえる。



松山城

戦国武将の加藤嘉明が、1602年に25年の歳月をかけて築いた名城。国指定重要文化財。



訪れてくれた人との出会いが財産です。城の構造や、造った人たちの知恵にふれてください。

桐木 正勝さん(右)、川野 裕さん

①(財)松山観光コンベンション協会 ② 9:00~12:00・13:00~16:00(年中無休(12/29~1/4を除く)) ③ 各人の個性を生かして、工夫されたガイドと共に松山城を巡ることができる。



道後温泉

明治27年に完成し、正岡子規や夏目漱石も訪れた国指定重要文化財。ミシュラングリーンガイドでも最高評価の三ツ星を獲得。



季節によって見どころが変わるので、ちょっとした下調べをしておくとともに観光が楽しめますよ。

永易 敬さん

①(財)松山観光コンベンション協会 ② 9:30~12:00・15:30~17:00(午後からは4月~9月中の土・日・祝日のみ) ③ 観光時間や興味・関心に合わせて、ガイドする場所を組み換えて案内してもらえる。



一草庵

放浪の俳人・種田山頭火が最晩年を過ごした庵を再建したもの。ここで“おちついて死ねそうな草枯るる”の名句を詠んだ。



山頭火が終の住処として選んだ一草庵で、ぜひ一緒にお話しましょう。

太田 和博さん(左)、黒田 義清さん(右)

① NPO法人 まつやま山頭火倶楽部 ② 9:00~17:00の土・日・祝日(季節によって変動あり) ③ 土・日・祝日は庵の中で、お茶を飲みながら山頭火について詳しい話を聞くことができる。



庚申庵

小林一茶とも親交のあった江戸時代の俳人・栗田栲堂が建てた庵。藤の名所としても知られる。



庚申庵ならではの四季折々の風情を楽しんでください。イベントにも、ぜひお越しください。

渡部 佳子さん

① NPO法人 Green Culture in Matsuyama 庚申庵倶楽部 ② 10:00~18:00(休園日:水曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12/28~1/4)) ③ 栲堂のことや昔から守られてきた庚申庵について、お茶を飲みながら話しを聞くことができる。



秋山兄弟生誕地

『坂の上の雲』の主人公、秋山好古・真之兄弟の生まれ育った家を再現した建物。桜の名所としても知られ、好古と真之の像や資料もある。



秋山兄弟が当時もっていた志は、今の時代にも通じるものがあると思います。若い方にもぜひ知っていただきたいです。

豊浦 房恵さん

①(財)常盤同郷会 ② 10:00~17:00(入館は16:30まで)(休園日:月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・年末年始(12/28~1/3)) ③ 上映されているビデオを鑑賞した後、ガイドさんによる秋山兄弟のお話や裏話の案内をしてもらえる。



「伊予の国 えひめの逸品」物産館

日時:平成22年3月7日(日)から平成24年1月まで

場所:松山市大街道三丁目6-1 岡崎産業ビル

坂の上の雲ミュージアム

日時:毎月第3土曜日 11時~14時

日時:毎月第4土曜日 11時~14時

日時:毎月第3土曜日 11時~14時

日時:毎月第4土曜日 11時~14時

日時:毎月第3土曜日 11時~14時

日時:毎月第4土曜日 11時~14時

「坂の上の雲」リレー朗読会と「さいわやほっけ」

日時:毎月第4日曜日 13時

お伽座の語り

日時:毎月第1土曜日 14時

学芸員によるギャラリートーク

毎月第4日曜日 11時から

松山春まつり(お城まつり)

日時:4月2日(金)~4日(日)

場所:松山城堀之内・大街道商店街千舟町

大名武者行列や野球拳全国大会などが松山市の中心地で開催される。

松山市観光産業振興課

問 (089)912-2570

第56回萬翠荘バラ展

日時:5月11日(火)~16日(日) 10時~17時

(ただし最終日は早めに閉館します)

場所:松山市一番町萬翠荘

入場料:大人200円 小人100円

獲れたてのうまい魚、食べたいよ♡



高知県を代表する港町、中土佐久礼出身の記者(池田も、瀬戸内海の魚のうまさにとびつくりだった)要予約。

問 (090)866955-8754

